



阿部 勝徳 議員

- 1、本市を取り巻く諸課題について
- 2、学校施設等のトイレの水洗化を

**Q** ①本市農業は米価の低迷、後継者不足、高齢化、TPP問題など危機に瀕している。米価対策としては更なる生産費の削減が望まれるが、その対策について伺う。また、耕作放棄地対策、大規模化・法人化に対応した経営能力向上対策、TPP対策について伺う②学校施設でいまだ

**A** 水洗化されていない施設があるが、水洗化の計画について伺う。  
**市長、教育長** ①農地中間管理事業による農地の集積、直播栽培の面積拡大、ほ場整備による作業の効率化など生産費の削減対策に努める。また、条件不利地に適した作物の導入や制度を利用した耕作放棄地の再生支援、県の「地域農業高度化支援チーム」や担当職員による経営能力向上支援、TPPについては対策について国へ要望している②大塩小、赤井小外トイレの2箇所がいまだ水洗化されていない。大塩小は平成29・30年度の公共下水道整備にあわせ、赤井小も同時に水洗化工事を行う。



▲生産費削減が期待される水稻の乾田直播



▲マイカーで数珠つなぎ



長谷川 博 議員

- 1、原子力災害避難計画について

**Q** ①広域避難計画で避難先は決定したが、避難に要する時間はどれぐらいと見込んでいるのか。文献によれば最低で44・5時間、実際はその数倍ともしている。バス避難対象者の見当は、バス確保の保証は。この計画で安全避難は可能か②行政区ごとに割り振った3市2町、80箇所余の

**A** 市長 ①30キロ圏は、まず屋内退避。放射能が放出された後、測定値に基づき避難指示となる。県の避難時間の推計では自家用車で17時間、バスの場合は手

配などを含め5日程度。バス利用者は最大で1万人。大型車で250台必要。国県に手配を頼んでいる②現場確認はこれから③指摘のとおり、国・県に調整を頼むしかない④要支援者の避難体制やヨウ素剤の配布体制が課題。年度内に避難計画概要版を全世帯に配布する。

**Q** 被爆せずに避難できるか疑問  
**A** 乗用車で17時間、バスは5日間